身体拘束に頼らないケアを目指します

～患者さんの尊厳と安全を守るために～

当院では、患者さんの尊厳を守り、
「身体拘束に頼らないケア」を基本としています。
やむを得ず身体拘束が必要な場合は、
必要性を十分に検討し、
できる限り早期解除に努めます。

当院の取り組み

- 病院全体で身体拘束最小化に取り組み、多職種による委員会活動を通して継続的に改善を行います。
- 患者さん・ご家族の理解と協力を得ながら取り組みます。
- 身体拘束に頼らず安全を確保できるよう、ケア方法や福祉用具の活用を進めます。
- 職員研修を継続し必要な知識・技術の向上に努めます。
- やむを得ず身体拘束を行う場合は「切迫性・非代替性・一時性」の３要件を遵守し、定期的な見直しと早期解除に努めます。

患者さんの「安全」と「尊厳」を守り、
身体拘束に頼らないケアを心がけます。

2026年6月　博愛会病院　病院長
身体拘束最小化委員会